地域情報誌　2023年７月号　第159号

おばらだより

みんなの和で　元気な暮らし
未来につなぐ　里山おばら

桜バス 予約はこちら
☎ 65-3131（サイサイ）

「一の谷嫩軍記（ふたば） 熊谷陣屋」の一場面

今月の表紙

小原歌舞伎保存会 五月公演

5月28日(日)、小原交流館で小原歌舞伎保存会による五月公演が開催されました。入場制限をしない開催は4年ぶりで、大勢の観客が会場にお越しになり、公演を楽しみました。

今回の公演は、「戎詣恋釣針（えびすもうでこいのつりばり） 釣女」「白浪五人男 稲瀬川勢揃（せいぞろい）の場」「一の谷嫩軍記（ふたば） 熊谷陣屋」の3演目が披露されました。公演の目玉は約8年ぶりの披露となった「熊谷陣屋」でした。この物語は、源平合戦の中で熊谷次郎直実が平敦盛の命を助けるため、身代りで息子(小次郎)の首を差し出すが、戦の虚しさを悟り、出家する姿を描いた作品で、90分を超える大作でした。出演した役者の迫真の演技は観客を魅了し、会場からは盛大な拍手が送られました。

これからも、豊田市無形民俗文化財である小原歌舞伎の文化の伝承と、次世代の後継者の育成に取り組む小原歌舞伎保存会を地域で応援していきましょう。

Data

人　口	**3,256**	**人（＋ 5）**
男性	1,578	人（＋ 2）
女性	1,678	人（＋ 3）
世帯数	**1,469**	**世帯（－ 2）**
令和５年度出生者数		**２人**

６月１日現在　（　）内前月比

Pick Up

2 小原中学校 職場体験学習

3 マイナンバーカード 臨時受け取り窓口

※おばらだよりは豊田市ホームページからも見ることが出来ます。　http://www.city.toyota.aichi.jp/

豊田市役所小原支所　〒470-0592 豊田市小原町上平 441-1
Tel:0565-65-2001　Fax:0565-65-3695　E-mail:obara-shisho@city.toyota.aichi.jp

マイタウンおいでん

6月17日(土)に「踊ろ舞!おいでん小原」(マイタウンおいでん)が小原トレーニングセンターで開催されました。始めに「和紙のふるさと太鼓」による迫力のある和太鼓の演奏が披露され、参加者からは大きな拍手や手拍子が贈られました。この日、参加した踊り連は5組でおいでんのテーマ曲を歌う「マキノバンド」による贅沢な生バンド演奏に合わせ、踊り連ごとに個性豊かな踊りや衣装が披露されました。会場にいる方はそれぞれの踊りを見て、幸せなひとときを過ごしていました。

おばらマルシェ

6月17日(土)に四季桜公園でおばらマルシェが開催されました。今回は、『小原らしさが溢れ、小規模でも質が高く、飽きの来ない持続性のあるマルシェ』を目指して実施されました。会場には、地元特産品や美味しいグルメ、小原ならではのアートやクラフト店が集合し、多くの方が訪れ、興味深そうに店舗を回っていました。中でも、子どもには、わたあめ店が人気で、多くの子ども達が綿菓子機の前に立ち、出店者に教わりながら、自分のわたあめを大喜びして作っていました。

道慈小学校区親睦グラウンドゴルフ大会

6月4日(日)、道慈小学校区田舎暮らし世話人会が主催する「道慈小学校区親睦グラウンドゴルフ大会」が道慈小学校のグラウンドで開催されました。

道慈小学校区田舎暮らし世話人会は、半年をかけて「道慈小学校区においでん！住もまい・暮らそまいプラン」を策定し、道慈小学校区の定住や移住の促進に取り組んでいる団体です。

このイベントは、3世代で道慈小学校区の親睦を深め、地域を盛り上げるために開催されました。始めは、大きな木のクラブの打ち方に慣れない参加者も多くいましたが、チーム内で教え合い、褒めたり、励ましの言葉を掛け合いながら、大人と子どもが一緒に競技を楽しんでいました。

小原中学校職場体験学習

6月14日(水)から16日(金)の3日間、小原中学校2年生の授業で職場体験学習が行われました。

職場体験では、働くことの大切さと大変さを体験することで、協調性や責任感など社会の一員としての自覚を身につけることをねらいとしており、28人の生徒が小原地区を中心にJAや市役所小原支所、小原観光協会等、様々な職場で仕事を学んだり、体験をしたりしました。小原観光協会で職場体験をした生徒は、小原夏まつりの開催に向けた関係者への文書の封入作業やハガキの購入、小原観光協会のツイッターに写真を掲載するなどの仕事をしました。生徒は、文書の封入作業について「大変だったけれど、楽しかった」と話しており、仕事に一生懸命取り組む様子が見られました。

この記事は豊田市役所小原支所の職場体験学習に参加された横目芽里奈さんが作成しました。

「マイナンバーカード臨時受け取り窓口」（完全予約制）と「マイナポイント申込支援窓口」（予約不要）を開設します。

※マイナンバーカードの申請受付はできませんのでご注意ください。

■開設場所・日時
市役所小原支所　8月31日（木）　午前9:30～正午、午後1:00～3:00

■対象
マイナンバーカードの申請が完了し、受け取りのご案内（黄色の封筒）が届いた方

■窓口でできること
・マイナンバーカードの受け取り（完全予約制：予約申込方法は下記のとおり）
・マイナポイント申込手続き（予約不要 ※マイナンバーカードの受け取りの方を優先）

■予約申込方法
7月25日（火）より予約受付開始 ※定員に達し次第締切り
1. 右記の二次元コードを読み取り、インターネットから予約
2. マイナンバーカードコールセンターへ電話　☎0570－083－130

▲マイナンバーカードの受け取り（交付）来庁予約サイト

■予約締切
8月29日（火）

■必要な持ち物
・運転免許証
　※運転免許証のない方は、氏名と生年月日が記載された書類2点（健康保険証、診察券、学生証など）
・受け取りのご案内（黄色の封筒）

■そのほか
・15歳未満の方は、法定代理人の同伴が必要です。
・紛失などで再交付の場合は手数料がかかる場合があります。
・支所・出張所では、予約や問合せを受け付けません。
・持ち物に不備がある場合はカードの受け取りができません。
・天候などにより開設を中止する場合があります。

【問合せ】市民課 マイナンバーカードコールセンター
平日8:30～17:15　休日9:00～17:00（第2日曜・第4土曜のみ）
☎0570-083-130　FAX37-1617　E-Mail　siminka@city.toyota.aichi.jp

四季桜のお酒「逢花（おうか）」の酒粕を使って新しい小原の特産品を作りませんか？

今秋（11月）、販売を予定している小原四季桜のお酒「逢花（おうか）」は、四季桜の花から採取された酵母菌と小原産ミネアサヒを原料として作られています。

このお酒を絞った後に残る「酒粕」を利用して、新たな料理のメニューやお土産等、小原の特産品となるものを作りたいと考えています。何かアイディアをお持ちの方、またはチャレンジしてみたいと思われる方は、是非、ご連絡をお願いします。

【問合せ】小原観光協会　☎65-3808

駐在所だより

1 水と山の事故　危険はいつも　すぐそこに

～ちょっとした注意や事前の準備が危険から守ります～

◎出かける前に天気や川の情報をチェック
◎子供だけで遊ばせない
◎遭難したと思ったらすぐに110番
◎ライフジャケットの着用

愛知県では昨年、水難事故が46件発生し、うち20名の方が亡くなっています。豊田署管内でも昨年、矢作川で遊泳中の男性が溺れて亡くなっています。

万一事故が発生した際に速やかに救助できるよう、救助用の浮き輪やスロープ等を準備しましょう。
バーベキュー等で飲酒をした場合は危険ですので川や海に入らないようにしましょう。

2「巡回連絡」のご協力をおねがいします！

「巡回連絡」は、
◎犯罪や事故の被害者とならないためのアドバイス
◎身近で発生している犯罪や事故の発生状況の連絡
◎災害や事故の発生時等のための家族構成・緊急連絡先
◎困りごと・警察に対する要望意見

等を伺い、今後の警察活動に繋げるといった活動です。

駐在所への連絡は 35-0110（豊田警察署）へ
駐在所へつないでもらえます

第51回　小原夏まつり

毎年、恒例の「小原夏まつり」が8月15日（火）に開催されます。小原の夏を盛り上げ、心に残る夏まつりにするため、是非、ご家族やご友人と一緒にお越しください。

■日時：令和5年8月15日（火）
盆踊り　　18:00～20:00
花火大会　20:00～20:30
※雨天の場合は、花火大会（19:00～）のみ開催
※飲酒運転は絶対におやめください
■会場：小原ふれあい公園

◆花火協賛金のお願い

花火大会は、地域の皆さまの協賛金によって、より魅力的になります。少額からでも結構ですので、ご協力の程、よろしくお願いします。

◆協力員の募集

小原夏まつりでは、「踊り協力員」及び「太鼓たたき手」を募集します。是非ともご応募ください。

◆応募方法

花火協賛金及び協力員の応募方法につきましては、７月上旬に、回覧及び配布文書にて詳細をご案内させていただきます。

【主催・問合せ】小原夏まつり実行委員会
（事務局：小原観光協会）☎65－3808

大草子育て支援センターからのお知らせ

☆8月のイベント☆

○8月のイベントはお休みします。
（園庭、室内開放は通常通り行います）

※自宅で検温してから出かけましょう。
※水分補給は各自でお願いします。

【園庭・室内開放】（予約の必要はありません）
平　日：午前9時～正午、午後1時～5時
※行事等で室内の利用ができない場合があります。
詳しくはこども園にお問い合わせください。

【問合せ】大草こども園
☎65－2045

小原福祉センター ふくしの里からのお知らせ

ふくしの里の和室を開放しています。
涼しいお部屋で宿題に！くつろぎに！
夏休みの憩いの場にご利用ください♪

利用時間　月～金　９時～１７時
持ち物　宿題・水筒・弁当（必要な方のみ）

【問合せ】小原福祉センター　ふくしの里
☎65-3350

小原交流館だより

豊田市小原交流館
小原地区コミュニティ会議
豊田市永太郎町落 681－1
TEL /0565-65-3711
FAX /0565-65-1189
http://ph-toyota.jp/guide/obara/

交流館講座案内

市民のやりたい気持ち応援講座
竹で楽器を作ろう

【日　程】8月20日(日) 9:30～12:30
【ところ】小原交流館　正面玄関前スペース
【内　容】小原の竹で竹楽器作り
【講　師】山内克豊氏
【対　象】小学校1～6年生の親子 10組
【参加費】小学生1人につき500円
【申込み】7月15日(土)10:00より先着順

キッズクラブ 2023①
～ワクワク科学体験!～

【日　程】8月27日(日) 10:00～12:00
【ところ】小原交流館　ふれあいほーる
【内　容】身近なもので燃料電池作り
　　水素で走るラジコンカーの操縦
【講　師】トヨタ技術会有志メンバー
【対　象】小学校4～6年生 18名
【参加費】無料
【申込み】7月23日(日) 10:00より先着順

申込先・問合せ Tel:65-3711　窓口優先　※詳細は後日配布するチラシをご覧ください。

交流館講座報告

〈小原地区コミュニティ会議 文化部会共催事業〉

6月24日(土)「あじさいコンサート＆プチマルシェ」を開催しました。小原地区在住竹内正美さん在籍のフォークソンググループ「ラスティバーミンツ」のコンサートと、プチマルシェをお目当てに多くの方々が来館し賑わいました。

コンサートではメンバーの息の合ったトークや、小原をテーマにしたオリジナルソングで場を沸かせ、幅広い年代の方々が手拍子をしながら演奏を楽しみました。「青春時代に戻ったようでした」「音楽からパワーをいただきました」と大変好評でした。

職場体験に来てくれました！！

6月14日(水)～16日(金)、小原中学校2年生の3人が交流館の色々な仕事に一生懸命取り組んでくれました。

「普段あまりかかわることのない地域の方や部屋利用の人と関わることができました。充実した楽しい3日間でした。」(井本聖也)

「利用者の要望に素早く丁寧に応えている姿を見て、自分で考えて判断し、行動することの大切さを学びました。」(田口綾夏)

「ポスター作りや、備品確認をしました。65歳以上の人が参加しているヒップホップダンスはパワフルですごいなと思いました。」(バウコマリア)

小原夏まつりのおしらせ

8月15日（火）開催

★踊り練習日
　☆7月26日（水）
　☆8月　5日（土）
＊午後7時～8時30分
　小原交流館ふれあいほーる
　練習日に会場へ来てね！

小原文化まつり
10月29日（日）開催予定

和紙のふるさと通信

http://www.washinofurusato.jp

豊田市永太郎町洞 216-1
小原和紙美術館　TEL0565-65-2151
和紙工芸体験館　TEL0565-65-2953

小原中部小学校　６年生『小原和紙を知ろう』

６月８日（木）小原中部小学校６年生７名が『小原和紙を知ろう』という授業のため、小原和紙のふるさとを訪れました。最初に和紙工芸体験館で１人ひとり、うちわ作りに挑戦しました。思い思いの、世界で一つだけの My うちわができました。乾燥時間に小原和紙美術館で小原和紙についてひとりずつ全員が担当者に質問し、和紙についての知識をより一層深めました。小学生らしい楽しい質問も多数あり、引率の先生たちも苦笑いでした。担当者もたじたじで回答していました。

美術館で和紙についての質問をする児童達

小原中学生　職場体験

今年もがんばりました

14 日（水）
コウゾのチリを取り除く「チリ取り」作業

6 月 14 日(水)から 3 日間小原中学校の生徒 1 人が小原和紙のふるさと和紙工芸体験館で職場体験をしました。小学校からずっと和紙すきをやっていることから和紙についての作業は知っています。しかし材料を一から準備することはあまり体験していません。初日はタクリ（コウゾの黒皮取り）やチリ取りをしました。「小原和紙のふるさと」の目的や役割について美術館で勉強し「小原和紙のふるさと」の重要性・必要性を改めて実感していました。実際に紙すきを体験しながらお客さんの体験の補助も務めました。

◆　出　張　講　座　◆

６月１０日（土）、小原和紙のふるさと工芸員が瀬戸市の聖霊中学高等学校で紙漉きの講師を務めました。今回で３回目となる土曜セミナーです。座学の後にコウゾをたたいて繊維を取り出しトロロアオイから取ったネリを加え和紙を漉きました。初めての体験でしたが「自分だけの豊田小原和紙」が上手に漉けました。セミナーを受講する６名の生徒さんはみなさん紙漉きが初めてです。生徒さんに楽しく紙漉きを体験して貰い、豊田小原和紙を知っていただけるように講師はいろいろ工夫しています。

紙を漉く生徒